



デフアスリートを ささえる

競技別手話言語通訳ガイド
[バスケットボール編]

Basketball



ごあいさつ

全日本ろうあ連盟
スポーツ委員会委員長
太田 陽介



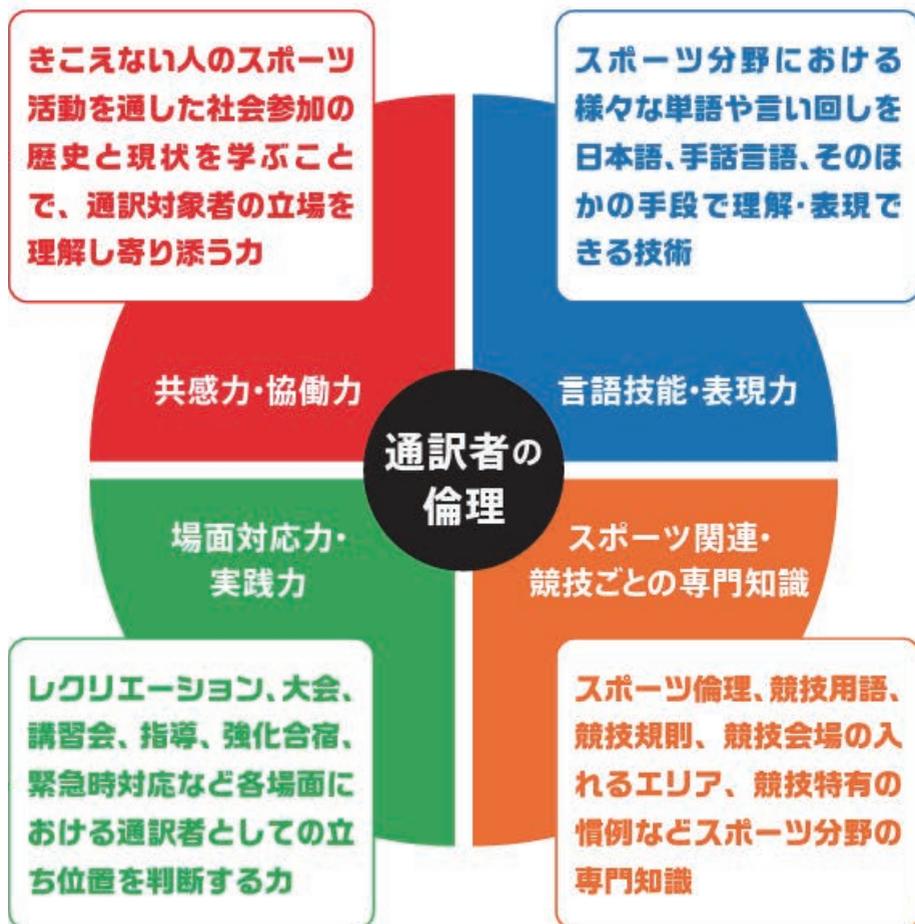
スポーツ庁は「する・みる・ささえる」といった多様なスポーツライフを通じて、スポーツ参画人口の拡大を目指しています。アスリートのプレーを「みる」、ボランティアの「ささえる」活動を通して、「する」スポーツへの興味が喚起され行動へとつながることが期待されており、きこえない人のスポーツ活動を通じた社会参加と共生社会の実現にも通じる取組になります。

きこえない人がアスリートのプレーをみるためには、スポーツ施設の情報アクセシビリティ向上、放送の字幕・手話言語付与などの整備が進められています。一方、きこえないアスリート(デフアスリート)がスポーツをするにあたっては、スポーツ関係者によるきこえないことや手話言語への理解促進とともに、デフアスリートのスポーツ活動をささえる手話言語通訳者の育成が重要になっています。

そこで、本委員会では令和2年度より、スポーツに精通した手話言語通訳者の育成を目的として、スポーツ庁の「障害者スポーツ推進プロジェクト事業」を受託しており、3年目となる令和4年度は、ドクター、トレーナー等、デフアスリートを取り巻く話に焦点を絞った医科学編と、専門種目としてバスケ競技、水泳競技、空手道競技を解説するパンフレットを製作しました。スポーツ活動の現場で通訳を行う方々の知識と技術の向上にこれらの手引が役立つことを願っています。

スポーツ分野で通訳するための準備

きこえない人のスポーツ活動を通じた社会参加を支える手話言語通訳者が、通訳者としての倫理観を備えた上で準備しておくべき知識と技術を、「共感力・協働力」「言語技能・表現力」「場面对応力、実践力」「スポーツ関連・競技ごとの専門知識」の4テーマに整理しました。



このガイドブックでは特にバスケットボール競技に必要な知識を紹介します。

手話言語通訳の責務

デフバスケットボール競技においては、公平性や安全性の視点より、国際大会や国内大会では補装具（補聴器や人工内耳）を外さなければなりません。それに合わせて、普段の練習から補装具を外すチームもあります。

普段の生活で補装具を使用していても、完全に音声に頼り切った対話ができる選手は少なく、情報をより正確に得るために手話言語を使う選手も多くいます。そのため、より適切な手話言語通訳が求められます。

競技中は、審判の笛の音、タイマーやテーブルオフィシャルのブザー音が鳴ったときに、リング上などに設置されているバトライトが点滅したり、コート外に設置されているフラッグマンが旗を振る（次ページ図参照）などで、コート上の選手に視覚的に知らせたりしています。

一般のバスケットボール競技規則にはスタッフや選手以外はバスケットボールコートに入ることできないと定められており、デフバスケットボール競技はそれに準拠しているため、前もって主催者に手話通訳者の派遣を依頼しなければならず、また手話通訳者の派遣費用、通訳範囲、立ち位置などを確認しておかなければなりません。

練習場面について、特に日本代表合宿では全国から選手が集まります。その中で、普段は補装具を使って口話中心で生活している選手もいれば、手話言語中心で生活している選手もいます。それに加え、用語の使い方や説明時のニュアンスが違ったりするため、意思疎通が難しい場合が多いです。

次ページより、基本的なルールを紹介からよく使われる用語とその手話表現をまとめました。表現方法を共有することで、よりスムーズに意思疎通が図れることが期待され、効果的な練習の進行に役立っています。



バスケットボールの基本的なルール

① バスケットボールは、それぞれ5人ずつのプレーヤーからなる2チームによってプレーをする。

② それぞれのチームの目的

- ・相手チームのバスケットに得点する。(オフェンス)
- ・相手チームが得点することを妨げる。(ディフェンス)

③ ゲームの勝敗は、競技時間が終了した時点で得点の多いチームが勝ち

④ ゲーム構成や交代について

- ・ゲームは各10分の4クォーターからなる。

※表記例「1クォーター」を「1Q」で表す。

・ハーフタイム(1Q・2Qと3Q・4Qの間のプレーをしない時間)を10分、1Q・3Qの後には2分のインターバル(以下、休憩の意)を設ける。4Qが終了した時点で両チームの得点が同点の場合は2分間のインターバルを設けたあと、5分間の延長戦を行うこともある。

※延長は、リーグ戦だとしないことが多く、トーナメント戦の場合は2回の延長が規定される。

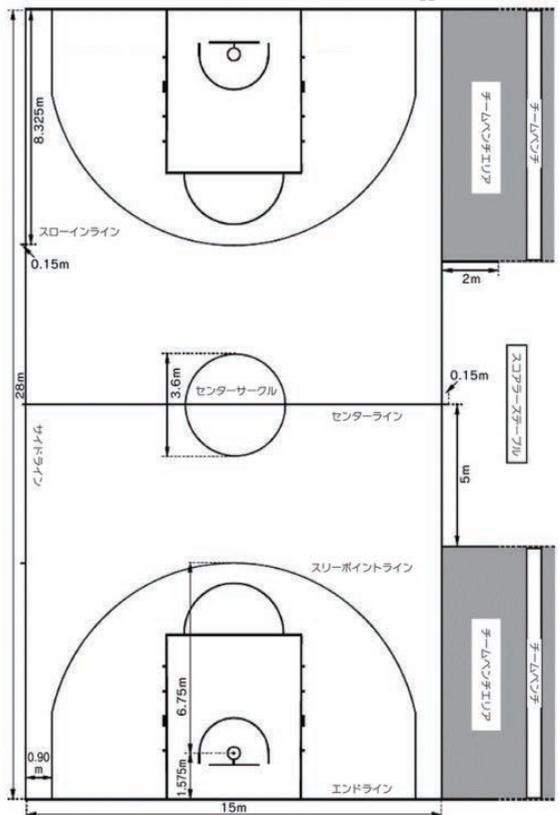
- ・交代の人数や回数は制限されない。

⑤ 対戦中のチームプレーヤー以外のメンバー(チームによって違う、原則として)

- ・監督(1名)やアシスタントコーチなど



図1 コートの全寸法



(一財)日本バスケットボール協会(=JBA)
バスケットボール競技規則2022 参照

バスケットボールでよく使われる用語と手話言語の表現①(意味の説明含・動画付)

バイオレーション

バスケットボール用語	手話言語訳	実際のプレー
<p>・バイオレーション</p> <p>バイオレーションとは、ルールの違反である。 ※ファウル以外の禁止されている行為</p>		
<p>・トラベリング</p> <p>ボールを持った状態で3歩以上歩くこと。 ピボット(手話言語の表現③参照)にしている足の軸がずれた場合も含まれる。</p>		
<p>・ダブルドリブル</p> <p>ドリブルを終えた後、再びドリブルをすること。</p>		
<p>・ヘルドボール</p> <p>両チームのプレーヤーによって、ボールの奪い合いが起り、試合進行ができなくなる状態。 TO(手話言語の表現③を参照)席に「オルタネイティングポゼッションアロー」の矢印が向いている側のチームボールで、スローインによって試合を再開する。</p>		
<p>・3秒</p> <p>オフェンスの時に、相手チームのゴール下にある制限区域内に3秒以上留まってはいけない。</p>		
<p>・5秒</p> <p>①スローインやフリースローは、ボールを受け取って5秒以内にプレーしなければならない。 ②ボールを受け取ってから5秒以内にパス、ドリブル、シュートのいずれかのプレーをしなければならない。</p>		
<p>・8秒</p> <p>オフェンスは、バックコートからフロントコートに8秒以内に運ばなければならない。</p>		
<p>・24秒</p> <p>オフェンスは24秒以内にシュートを決める。 または、ボールをリングに触れさせなければならない。</p>		

バスケットボールでよく使われる用語と手話言語の表現②(意味の説明含・動画付)

ファール

バスケットボール用語	手話言語訳	実際のプレー
<p>・ファール</p> <p>ファウルとは、規則に対する違反のうち、相手チームのプレーヤーとの不当な体の触れ合いおよびスポーツマンらしくない行為をいう。</p>		
<p>・プッシング</p> <p>相手のボールの保持に関わらず、手や体で相手を無理に押しつける、押して動かそうとする不当な体の触れ合いのこと。</p>		
<p>・ブロッキング</p> <p>・チャージング</p> <p>相手のボールの保持に関わらず、相手プレーヤーの進行を妨げる不当な体の触れ合い。</p>		
<p>・ホールディング</p> <p>相手プレーヤーの自由な動きを妨げる不当な体の触れ合いのこと。</p>		
<p>・ハンドチェックング</p> <p>相手のボールの保持に関わらず、ディフェンスのプレーヤーが継続的に腕や手で相手に触れ続け、相手の進行を妨げること。</p>		

バスケットボール競技用語の審判サイン一例



ブロッキング



ダブルドリブル

バスケットボールでよく使われる用語と手話言語の表現③(意味の説明含・動画付)



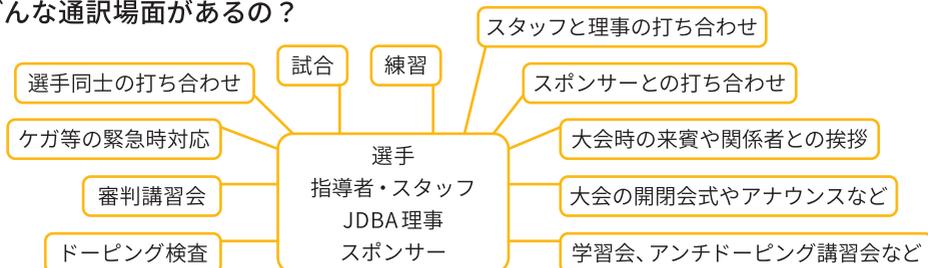
その他



バスケットボール用語	手話言語訳
<p>・フリースロー フリースローラインより後ろかつ半円の中から妨げることなくシュートを打つことができる。成功時には1点が得られる。</p>	
<p>・審判 クルーチーフ(1名)とアンパイア(1名または2名)で構成される。</p>	
<p>・テーブルオフィシャルズ(=TO) スコアラー、アシスタントスコアラー、タイマー、ショットクロックオペレーターの名から構成される。</p>	
<p>・交代 選手の交代。回数や人数に制限はない。</p>	
<p>・タイムアウト ヘッドコーチまたはアシスタントコーチの請求によって認められる、ゲームの中断のこと。 一回につき1分与えられ、前半に2回、後半に3回認められる。</p>	
<p>・ピボット ボールを保持するプレーヤーが片方の足を軸としてフロアとの接点を変えずにもう一方の足でステップを踏むこと。</p>	

バスケットボールと情報保障

どんな通訳場面があるの？



・多岐にわたる通訳場面があります。対応できるよう現場でスタッフや日本デフバスケットボール協会（JDBA）の関係者、選手との確認は必須となります。

情報保障を行うためのバックグラウンドの理解

- ・全国から集まった選手、スタッフの主なコミュニケーション手段は様々です。コミュニケーション能力、言語歴が多様であり、時には選手間のコミュニケーションにも通訳として入ることがあります。
- ・バスケットボールに関する専門用語は表現にこだわりすぎず、場合によっては「指文字でそのまま伝える」、「事前に表現を確認する」ことが重要です。



指文字で表現したほうがスムーズに伝わることもある！

- ・最低限のルールや基本単語を事前理解していきましょう。
- 何を目的にした指導なのか理解し、効率の良い通訳が可能となります。
- 貴重な練習時間を無駄にしないために、このパンフレットに記載されているルール、基本単語は事前学習（予習）が必須です。

試合中の情報保障

- ・試合中は選手へ何か伝達する時間は限られ、短時間で的確に伝えるためには競技に関する知識と普段どのような手話表現を使用しているのか選手の手話表現の観察も不可欠です。



・ドーピング検査は抜き打ちです。いつでも対応ができるような流れで行われるのか事前に確認をしておくといでしょう。

(パンフ「医科学編」にドーピング検査の流れが掲載されているのでそちらを参照)

・ケガ等の緊急時では、慌てることなく対応することを心掛けてください。

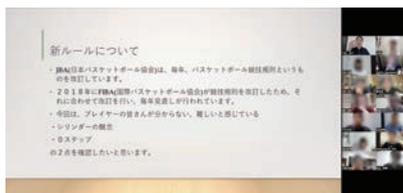
(詳細はパンフ「医科学編」を参照)

審判講習会での情報保障

現在、きこえない審判も活躍しています。

審判講習会では、専門用語が多く出ます。

単語の事前学習としてルールへのさらなる理解が必須となります。



悩んだ時は普段どのようにしているのか選手やスタッフに聞くのもよいでしょう！

ろう聴障のB級バスケ審判によるオンライン講習会の一場面です

POINT

大会や合宿・練習状況を見て、きこえる主催者やきこえる指導者の意向を汲み取りながら、その場にいるきこえない選手、きこえる人たちの相互の意思疎通、相互理解ができるように配慮していきましょう。

どんな服装がいいの？

動きやすい服(ジャージなどでOK)が基本です。

・体育館の設備によりますが夏は暑く、冬はかなり冷えるので温度調整が出来るよう準備をしておきましょう。

・コート(体育館)では靴を履き替えます。練習中や大会の際には移動が多いためスリッパではなく、体育館シューズなどしっかりした靴を用意しましょう。

・大会などでは開会式や閉会式、他にも来賓者、スポンサーとの通訳対応があります。その場合は担当者へ服装の事前確認をしましょう。



練習では通訳者の移動で全体を待たせることの無いよう素早い動きができる服装、靴を用意すると良いでしょう！

通訳のあんな時こんな時

練習中に指導者が全体に向けて大声で指導しているが、選手は練習に集中しているので止められない時は、プレーが止まった時や休憩時に伝えたり、指導者へプレーをいったん止めて指導してもらうよう伝えます。



試合中には監督がプレー中の選手に対してコメントが入ることがあります。どの選手に対して言っていたことを覚えておき、該当選手がベンチに戻ってきたときに事後通訳することもあります。

練習や試合に向け指導のタイミングを指導者と確認することが重要です！



指導者の指導内容がうまく伝わっていないと感じた時は、通訳がうまくいっていないことを伝え、手話言語通訳だけでなくホワイトボードや作戦ボードを利用するなど相談、工夫することも必要です。

他にも JDBA の運営に関する打ち合わせの通訳があります。

団体名の略称等を事前に覚えておくといよいでしょう。(※関係機関の略称は組織図を参照)



あるデフバスケット手話言語通訳の経験者から・・・

1. 指導の際によくあるのが動きの説明のために選手や通訳者に対して指導者から「ここに立っていてほしい」と言われがちです。選手は説明と通訳を同時に見られず情報が得られない事態や、通訳者が立ってしまうと指導者と離れてしまい良い位置で通訳できないという事態がおこってしまいます。

→ 対応例) 指導者の近くにいるのでよく声を掛けられやすいのが実態です。その際は選手から見えにくくなってしまふことを伝え、他のスタッフなどに変わりをお願いしていきましょう。

2. 通訳に入ろうとしたがきこえる指導者より「この程度の内容であれば通訳はいなくても大丈夫ではないか」と対応されがちです。

→ 対応例) きこえる指導者ときこえない選手双方の関係性もあるのでその場を尊重しつつも通じていない様子があればすぐに通訳に入るようにします。きこえない選手の視界に入る場所であれば目線で通訳を呼ぶこともあります。このような視線を察知出来るようにしましょう。

3. 選手が指導者や通訳の方を見る習慣がなく、プレー中に指導がうまく伝えられない状況が生じがちです。そのため指導者が伝えることをやめてしまうことがあります。

→ 対応例) 指導者から選手に対して見る癖をつけるように言ってもらう。根気強く選手に対して見る癖をつけるよう働きかけをするとよいでしょう。

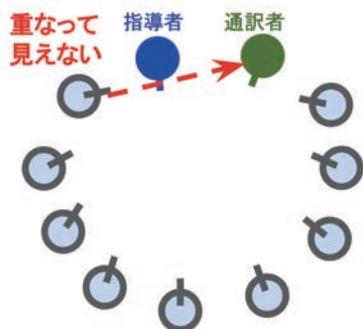
立ち位置はどこがいいの？

「場面例1～強化合宿や練習～」

・基本的にはよく発言する(きこえる)指導者のそばにいて、必要に応じて通訳を行います。

・指導者がコート内に入って動きながら指導する時は、遅れることなく通訳者も一緒に動き、選手の視界に入るよう注意をしましょう。

また、通訳を始める前には全員が通訳のことを見ているか確認してから始めるようにしましょう

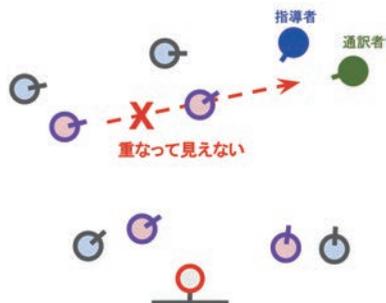


POINT

バスケットボールは選手それぞれポジションが決まっており練習内容によっては各ポジションにつきながら、動きなどの指導をする場合があります。

選手同士が重なり手話言語通訳が見えない位置に入ってしまったときもあるので全員が見えているかをしっかりと確認してから通訳を開始するといいでしょ。その際、指導者が説明を始めてしまった場合は、少し待ってもらふなどの声掛けも必要です。

また、指導者と近すぎる立ち位置では選手から遠すぎる場合もあります。手話表現が読みとれる適度な距離感を確認することも重要です。



POINT

バスケットボールはチームプレーです。その場に居る全員が同じ共通認識を持つことがカギになります。曖昧な知識で通訳はせず、わからないことがあればその場で確認することが大切です。



「場面例2～U-21(世界大会) 試合等～」

- ・基本は試合中ベンチに入り、監督(きこえる人)とどの位置に待機するか確認し待機(着席)します。監督の指示をはじめ、選手や審判の発言、会場内の情報を通訳します。
- ・試合中はトレーナー(きこえる人)と選手がコンディションの確認をすることもあります。選手が不調を訴えることもあるのでそちらにも気を配ることが大切です。



POINT

チームの帯同通訳として行く場合は、通訳以外の動きも求められます。あらゆる情報をチーム内で共有しながら動きます。

「場面例3～きこえる団体が主催する試合～」

- ・通常の場合、コートへ部外者の立ち入りは禁止されています。
- ・試合中審判が選手およびベンチとの意思疎通が必要と判断し、審判より依頼があった場合にコートへの立ち入りが許されます。その際の立ち位置は審判の横で通訳を行います。

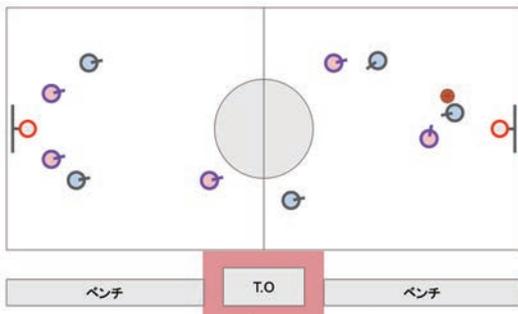
POINT

大会主催側が通訳を配置した場合は、どこかのチームが有利になるような動きはしないよう注意しましょう。

- ・自身がどの立場で現場にいるのか十分に把握して現場に入ることを心掛けましょう。
- ・TO(※1)の後ろも立ち入り禁止となっています。現在、デフバスケットは特例としてTO後ろへの立ち入りが許可されており、審判の要求に応じてコートに入り通訳を行っています。



← 審判の了解を得て、TO席(机)に通訳者が行き、審判された内容を確認して、説明の準備をしている場面



- ・本来であれば立ち入ることのできないエリアとなっているため、待機場所については審判およびTOとしっかり事前確認をするようにしましょう。

※1) TO...テーブル・オフィシャルズ
タイマーや得点、ファウルの記録などゲームの進行を補佐する役目の人達のこと。
(手話表現⑤を参照)

赤い部分は、立ち入り禁止ですが、通訳者は特例として許可されています。TOや審判の妨げにならない場所に待機してます。

バスケットボール選手・スタッフになるために ～各自の経歴、経験をインタビュー～



- ① 氏名(年齢、生活拠点地、チームでの役割、バスケット歴)
- ② コミュニケーション手段
- ③ デフバスケットに関わったきっかけ
- ④ 手話言語通訳者に求めること
- ⑤ (選手には)チームメンバーとのコミュニケーションで気をつけていること
(スタッフには)選手とのコミュニケーションで気をつけていること
- ⑥ 緊急時の対応について体験談(あれば)



平安 彩音さん

- ①平安 彩音(ひらやす あやね/21歳、福岡県、代表候補選手、バスケ歴14年)
- ②手話言語、口話
- ③九州デフバスケフェスティバルに参加したことをきっかけにデフバスケと関わるようになりました。一般校できこえる人との練習では、簡単な指文字や手話言語、ゆっくりとわかりやすい口話、身振りなどを使ってコミュニケーションをとりました。また、大会へ参加した際には、審判の笛が聞こえないのでフラッグマンやランプで知らせるなど工夫がされています。
- ④手話言語だけではなく表情も含めて通訳して頂いているのでよりわかりやすく、表現も良く、表情も大切です。
- ⑤手話言語だけで育った人や、口話で育った人などそれぞれコミュニケーション方法や考え方も違うので、その人に合ったコミュニケーション方法をとるようにしています。



川島 真琴さん

- ①川島 真琴(かわしま まこと/20歳、埼玉県、代表候補選手、バスケ歴11年)
- ②普段は口話で生活しており指文字を使う程度で、デフバスケでは、手話言語はできるが勉強中です。
- ③高校の顧問の先生に紹介してもらって知りました。高校の部活では、セットプレーの声掛けやディフェンスのカバーの声掛けなどが聞こえず、ゲーム中に仲間とのコミュニケーションがうまく取れなくて悩んだ時もあったが、自分から「サインを作って」とお願いしたことで少しずつ改善していきました。
- ④専門用語で困っている姿をよく見かけたので、たくさんの選手やコーチ達と話し合い、専門用語の手話を決めて共有していきたいです。
- ⑤バスケの専門用語で困っている姿をよく見かけたのでたくさんの選手やコーチ達と話し合っバスケ専門用語の手話表現を決めて共有していきたいです。





鈴木 裕加さん

- ①鈴木 裕加(すずき ゆか/42歳、千葉県、代表チームスタッフ、バスケ歴31年)
- ②手話言語と口話
- ③デフバスケは社会人一年目の時に友人から誘われて初めて知りました。中学の時は顧問の先生、同級生とバスケノートを交換しわからなかったところを図解していただいていた。高校、大学では、サインプレーを決めたり、コート外で話し合う時間を増やして対応しました。現在、地元のママさんバスケチームでもメンバーがバスケに関する手話を覚えてくださり、楽しくやっています。
- ④可能な限り、バスケ経験者が通訳を対応してくださると一番わかりやすいです。
- ⑤アンチドーピング担当なので、間違いのないように、本当に相手に正しく伝わったか、理解しているか、確認しながら丁寧に対応することを心がけています。



石川 友正さん

- ①石川 友正(いしかわ ともまさ/40歳、秋田県、代表チームリーダー、バスケ歴30年)
- ②手話言語、口話
- ③一般校でこえる人と東北選抜候補選手として活躍したが、相手とのコミュニケーションが上手く取れず、プレーの切り替えなどが遅れしまい、レギュラーになれませんでした。大学時代に「まずデフバスケ日本代表になつては」と言われ、デフバスケ日本代表を目指し、経験しました。
- ④聞こえるプロ選手からマンツーマン指導を受けている時は、プロ選手の表情・ジェスチャー・動きの発信内容と共に手話言語通訳の内容がデフ選手の視野に収まるような、立ち位置の工夫が望まれます。音声言語が中心のスタッフ等の発話や指示を通訳をし、伝達速度を上げていくためには専門用語の意味を理解することも重要です。

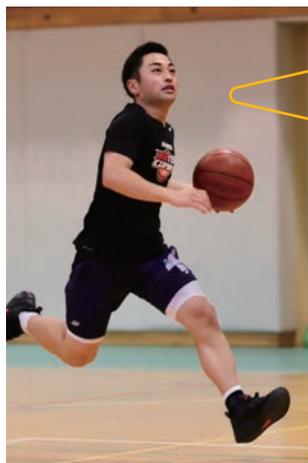
⑤1つ目は、スタッフが選手たちに説明する際、「わかったふり」をさせないように、選手たちの表情と手話を確認することです。指示内容に対する確認方法として、再度質問を行います。2つ目は、試合の戦略により「誰が試合に出るのかは、試合前日が当日まで選手たちに教えない」等チーム内の関係に配慮します。3つ目は、スタッフと選手がお互いに異性である場合は特に、JDBAの倫理規程を常に意識しています。

⑥合宿で選手がコロナ感染の疑いが生じた時、陰性で事なきを得ましたが、新型コロナウイルス感染症の予防ガイドラインの周知、徹底すべきだと感じました。練習開始予定の遅延は避け、コロナ禍の対応や行動を迅速化します。



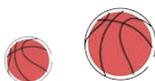
永澤 大基さん

- ①永澤 太基(ながさわ たいき/32歳、東京都、代表候補選手、バスケ歴21年)
- ②手話言語、口話
- ③高校生の時に在学している聾学校に短期間の教育実習として来た方(デフ)からデフだけのチームがあると教えてもらい、家から近いデフバスケチームへ練習見学をしたことが出会いでした。本格的に関わるようになったのは、国立大学法人筑波技術大学へ入学し、バスケ部へ入部したことがきっかけです。
- ④審判とのコミュニケーションを取る際に、試合のファール基準や注意点等、その審判が基準にしていることを確認することがあり、通訳者がいる・いないではコミュニケーションの取りやすさがかなり変わってくるので、そのような部分で手話言語通訳者の配置を求めています。



越前 由喜さん

- ①越前 由喜(えちぜん ゆうき/23歳、福島県、代表候補選手、バスケ歴15年)
- ②私生活、職場では手話言語、文字変換アプリを活用しています。
- ③小学校5年生の時に父がパソコンでデフバスケを見つけてくれたことがきっかけです。現在は、きこえる人の福島教員チームに所属しており、デフの自分のことを理解してもらい、フォーメーションの練習では手話に基づいたサインを作ってくれたり、一生懸命手話言語の勉強や身振り手振りで私に伝えようとしてくれます。
- ④スポーツにおける手話言語通訳で一番大変なことは専門用語が多いことだと思います。全て指文字にするとタイムラグが生じてしまいます。予め専門用語と手話表現を選手やスタッフ陣と確認して行うことが必要だと思います。



試合や大会などの活躍の場を紹介

活躍した国際大会

U21デフバスケットボール世界選手権 (2018)

アメリカ合衆国ワシントンDCギャロウデット大学にて、男女とも史上初の銀メダルを獲得しました。

デフバスケットボール世界選手権 (2019)

ポーランドのルブリンにて、男子は15ヶ国11位、女子は10ヶ国7位の大会結果となりました。

他の国際大会

夏季デフリンピック競技大会

4年に1度開催されるきこえない人が運営する、きこえない人のための国際的なスポーツ大会です。

国内大会の紹介

3×3 ENEOS CUP (3×3 デフバスケットボール大会)

国際バスケットボール連盟(FIBA)が世界基準を統一し、全世界で普及している新スタイルの3人制バスケットボールです。日本デフバスケットボール協会(JDBA)は、3人制バスケットボール競技を2022年から国内大会として開催しました。

国際デフバスケットボール連盟(DIBF)は3×3ワールドカップを2年ごとに開催しています。その実績を国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)に申請中であり、もし採択されれば、これからのデフリンピックの正式種目に3人制バスケットボール競技が採用されるかもしれません。

サマーキャンプ

全国各地のデフバスケットボール選手およびきこえる人を含む支援者が一堂に集い、デフバスケットボール普及の在り方を考える機会を設けます。一般のバスケットボールと違うバスケットボール競技におけるデフバスケットボールの魅力・特徴を探求した企画を実施し、より多くの人に知ってもらい、楽しめるキャンプを実施します。

国際デフバスケットボール連盟(DIBF)はユースキャンプを1年ごとに開催しています。

ENEOS CUP (全日本デフバスケットボール選手権大会)

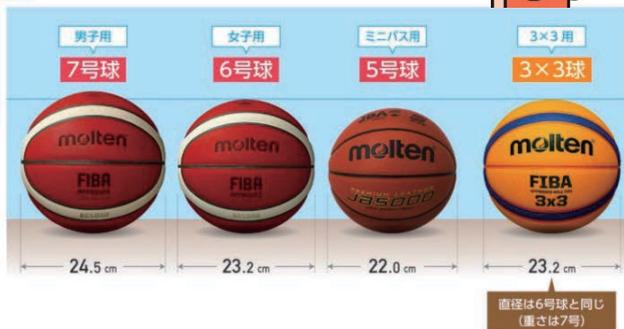
ENEOS CUPは、本大会を通して、選手の技術を向上させると共に、日本代表強化指定選手の発掘及び人材育成を図ります。きこえない・きこえにくい児/者、関係するきこえる人、関係する子どもを育てる保護者等のすべての方に、デフバスケットボールの普及と発展やJDBAの在り方の相互理解を促し、賛同する方を増やしていきます。

ミニリーグ(日本デフバスケットボール大会)

ミニリーグは、きこえない・きこえにくい児/者だけではなく、きこえる人も参加することができる唯一のオンザコート2[1チームにきこえない・きこえにくいプレーヤーが3人・きこえるプレーヤーが2人]の大会です。(※将来ENEOS CUPのオンザコート1[1チームにきこえない・きこえにくいプレーヤーが4人・きこえるプレーヤーが1人]のルールを廃止する方向)2001年から始まり、毎年全国各地で開催されています。本大会を通して、全国各地にあるデフバスケットボール同士の交流および相互理解を深め、競技意識の向上と技術強化を図るとともに、デフバスケットボールの普及に寄与することを目的とし、活動を進めています。

リングの高さや大きさ、ボールの大きさ

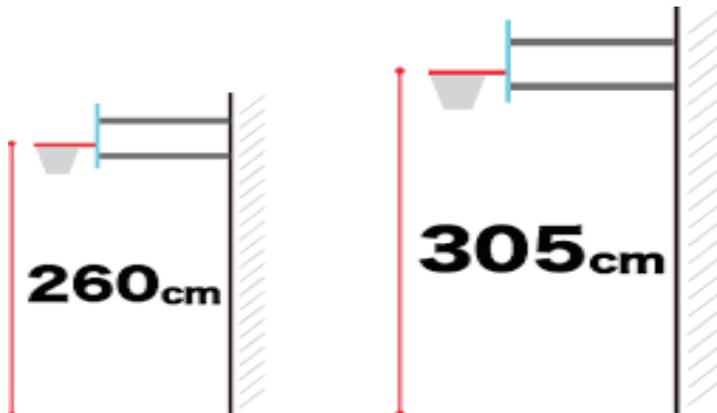
バスケットボールは年代や男女で使用するボールの大きさやリングの高さが違います。基礎知識として事前に知っておくとよいでしょう。



ミニバス用→

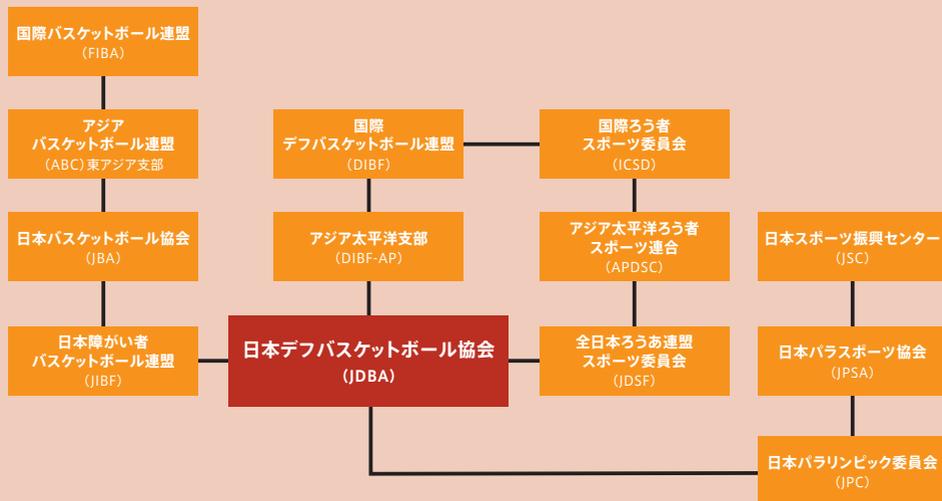
通常のバスケットボールよりも小さいボールや狭いコートで行われる球技。

日本では12才以下の小学生が対象。



↑一般用

[組織]



特定非営利活動法人デフバスケットボール協会

特定非営利活動法人デフバスケットボール協会は1997年に設立し、全国のデフバスケットボールチームのメンバー200名近くの会員で構成、全国におけるデフバスケットボールの普及及び振興を図ることを目的としています。目的を達成する事業として「競技会の開催及び運営」「国際競技会へ派遣する選手団の編成」「競技者の強化育成」「審判員の養成」「国民に対する広報」「国際交流・地域への普及活動及び振興企画」等を行っています。

[編集協力]

特定非営利活動法人
デフバスケットボール協会

デフアスリートをささえる

競技別手話言語通訳ガイド [バスケットボール編]

発行日 2023年3月31日

発行 一般財団法人全日本ろうあ連盟
スポーツ委員会

TEL : 03-3268-8847

FAX : 03-3267-3445

メール : jfd-sc@jfd.or.jp

URL : <https://www.jfd.or.jp/sc/>

このガイドブックは、令和4年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（障害者スポーツの指導等に係る競技別の標準化・マニュアル作成等）」（スポーツに通じた手話言語通訳者の育成）の一環で作成しました。

[参考情報]

日本デフバスケットボール協会 (JDBA)
<https://jdba.sakura.ne.jp/>

日本バスケットボール協会 (JBA)
<https://www.japanbasketball.jp/>

全日本ろうあ連盟スポーツ委員会 (JDSF)
<https://www.jfd.or.jp/sc/>